

- 福岡ソフトバンクホークス株式会社は、新型コロナウイルス感染症により大幅に減少した売上・観客数の回復を最優先課題として、①人々が応援したくなる魅力的なチーム作り、②新しい体験価値の提供を実現する施設・体制作り、③SDGsの観点からファンに愛される企業となるべく、最先端の技術・システムを活用した設備投資、カーボンニュートラルへの実現に積極的に取り組む。
- これらの取り組みにより、新型コロナウイルス感染症の影響で大きく落ち込んだ経営状況を立て直し、PayPayドームやBOSS E・ZO FUKUOKAへの来場促進を図ることで全社業績のV字回復を目指すとともに、魅力あるエンターテインメント施設へと昇華させる。

1. 事業適応計画の実施期間

2022年7月～2027年2月

2. 生産性向上目標・新需要開拓目標

2027年2月期のEBITDAマージンが、基準年度である2022年2月期を5%ポイント以上上回ることを目標とする。

3. 前向きな取組の内容

計画終了年度における新たな取り組みを通じた売上高が、全体の売上高の1%以上となることを目標とする。

4. 支援措置

税制措置（繰越欠損金の控除上限の特例）

<取組の内容のイメージ>

